

「聴覚障がい学生と卒業生の集い」と「手話カフェ」 ～学生・大学・地域を結ぶ取り組み～

聴覚障がい学生と卒業生の集い

各大学の聴覚障がい学生はまだまだ少ないので…

- ・聴覚障がい学生ならではの悩みや不安を共有する場所がない
- ・手話を使ってたくさんコミュニケーションを図る場所がない

近隣大学の聴覚障がい学生や卒業生のネットワークを作ろう！

～参加学生の感想～

「他の学生が将来に向けてどのように考えているのかを知れるよい機会となった」
「大学を卒業した人からの話を聞いてよかった」

<内容>

卒業生によるレクチャー（学生時代、就職活動、就職してからのことなど）、グループディスカッション（学生生活、支援のことなど）

<参加者の推移>

平成 25 年度：聴覚障がい学生 2 名、卒業生 1 名

平成 26 年度は「聴覚障がい学生と手話を学ぶ学生の集い」を開催

平成 27 年度：聴覚障がい学生 7 名、卒業生 3 名、ろう学校より生徒 1 名、教職員 6 名



手話カフェ

- ・手話のできる学生や教職員が少なく、ろうの学生とのコミュニケーションがスムーズでないことも
- ・聴覚障がい学生の人間関係が狭くなりがち
- ・手話を学習したことのある人が手話で交流する機会が少ない

手話の輪を広げよう！

～参加の動機～

「もともと手話に興味があり、教わる機会が欲しかったから」
「せっかく覚えた手話を使ってみたかった」
「ノートテイクをしていて、手話で話せるようになりたかった」

<内容>手話の学習を通じた交流

【27 年度これまでの学習テーマ】

「あいさつ」「曜日」「誕生日、出身地」「趣味」「食べ物」「学校」

<日時>月 2 回、昼休み

<場所>金沢大学の図書館ブックラウンジ

⇒通りかかった人が関心をもってくださいます。

<参加者>金沢大学の学生や教職員を中心に、近隣大学の学生や一般の手話学習者も参加

⇒手話のできる人だけでなく、初めて手話を学ぶ人もたくさん参加しています。毎回 30 名前後の参加者がいます。



～参加学生の感想～

「指を動かしながら習えるのがよい」
「学年も学類も違う人と関わるとてもいい機会になっている」
「知らないことばかりで知ることが楽しい。覚えていくともっと楽しくなりそう」

文部科学省 平成 24 年度大学間連携共同教育推進事業選定取組「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」

参加機関：金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学・石川県立大学・石川県立看護大学・金沢美術工芸大学・金沢医科大学・金沢学院大学・金沢工業大学・金沢星稜大学・金城大学・北陸大学・北陸学院大学・金沢学院短期大学・金城大学短期大学部・小松短期大学・金沢星稜大学女子短期大学部・北陸学院大学短期大学部・石川工業高等専門学校・金沢工業高等専門学校

問い合わせ先

石川県障がい学生等共同サポートセンター saposen@m1.kanazawa-u.ac.jp